



令和6年5月9日

各 位

会 社 名 名工建設株式会社
代 表 者 代表取締役社長 松野篤二
(コード番号 1869 名証メイン市場)
問 合 せ 先 取締役常務執行役員
管理本部長 高松一郎
T E L 052-589-1501

名工建設株式会社「第19次経営計画（令和6年度～令和8年度）」の策定について

この度、当社は、令和6年度から令和8年度までの3ヵ年を対象とする「第19次経営計画（令和6年度～令和8年度）」を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

第19次経営計画として「スローガン」とともに経営目標と数値目標を定めています。第18次経営計画で“3Cイノベーション”として取り組んできた「信頼」「競争力」「実行力」にさらに磨きをかけ、第19次経営計画ではこの3Cに新たに「挑戦（Challenge）」を加えた4Cを経営目標とし、「挑戦、未来へ 4つのC」をスローガンとして掲げ、全社をあげて目標達成に向けて新たな成長に挑戦していきます。

◎スローガン 「挑戦、未来へ 4つのC」

◎経営目標	「信 頼 (Confidence)」「競 争 力 (Competitiveness)」「実 行 力 (Capability)」「挑 戦 (Challenge)」	安全・品質の追求と社会的責務の遂行 受注確度の向上と顧客の多様なニーズへの対応 変化を乗り越える技術力と機動力の発揮 未来に向けて 《さらなる安全と高い品質の追求》 《技術力のさらなる向上》 《DXによる業務執行方法の変革推進》 《研修施設建設計画の推進》 《人的資本投資・活躍支援と WLB(ワーク・ライフ・バランス)の実現》 《社会的責任を果たすSDGs経営の遂行》 《売上拡大に向けた戦略的な取組》
-------	--	---

◎数値目標	・受注高	950億円
	・売上高	950億円
	・営業利益額	60億円

※ 本計画で記載されている業績予想、将来予測は現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい。

以 上

第 19 次 経 営 計 画

- 4 C -

R 6 . 4 - R 9 . 3

第19次経営計画

- 4 C -

1 経営計画策定にあたり～中期経営計画の位置づけ～

2 第19次経営計画 - 4 C -

3 5～10年後のマイルストーン



経営計画策定にあたり

経営計画策定にあたり

当社は、社訓や企業理念の実現に向けて、この3年間で取組むべき基本方針や目標を中期経営計画として定めています。



R10・R15マイルストーンについて



社会情勢に左右されない盤石な経営基盤を構築するため、**3か年の中期経営計画『第19次経営計画』**を策定するとともに、「挑戦する目標」として『**5・10年後のマイルストーン**』を設定。

社員はもとより、すべてのステークホルダーに対して、より長期的なスパンでも魅力のある名工建設を目指し、役員・社員が目標達成に向けて何をすべきか考えました。

なお、事業環境等が大きく変化した場合には柔軟に対応し、その見直しを図ることとします。



第19次経営計画 - 4 C -

第18次経営計画の目標『**信頼・競争力・実行力：3Cイノベーション**』
が実を結びつつあります。

これまで築いた経営基盤を礎に、次に目指すべきは、社会の変化に対応し
明るい未来をつくるための

『**さらなる成長への挑戦**』です。

安全・品質・コンプライアンスといった基本理念は守り磨きつつ、
人材の確保・受注基盤の拡大と利益の確保・DXなどによる飛躍を目指します。
さらに事業成長に欠かせない社員育成と活躍を図り、ワークライフバランス
と働きがいのある企業を実現していきます。



第18次経営計画で“3Cイノベーション”として取組んできた、

信 頼

C onfidence

競 争 力

C ompetitiveness

実 行 力

C apability

にさらに磨きをかけ

第19次経営計画ではこの「3C」に、新たに

挑 戦

C hallenge

を加えた「4C」を経営目標とし、

スローガン

『挑戦、未来へ 4つのC』

を掲げ、全社をあげて目標達成に向け新たな成長に挑戦していきます。

『挑戦、未来へ 4つのC』

信頼

C onfidence

競争力

C ompetitiveness

実行力

C apability

挑戦

C hallenge

第19次経営計画 - 4C -
各重点項目



経営目標1

信頼

Confidence

安全・品質の追求と社会的責務の遂行



- ・ 全員参加による安全文化の確立のための「環境（組織）・人・仕組み」づくりを進める
- ・ 品質管理能力の向上に努める
- ・ 自律的なコンプライアンス風土の確立とリスクへの迅速な組織的対処を行う
- ・ CSR・ESG・SDGs、BCPに積極的に取り組む



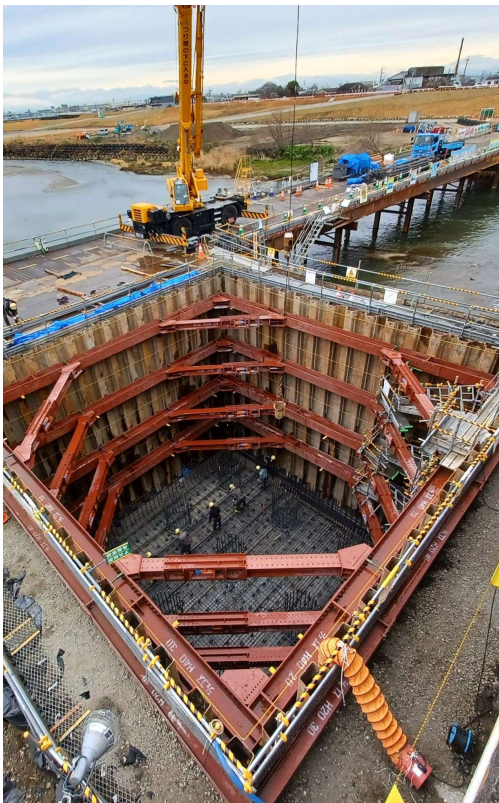
- ・ 競争に打ち勝つため筋肉質な体質への強化に努める
- ・ JR工事の確実な遂行を行う
- ・ 実績の積み上げにより官公庁工事での売上拡大に取り組む
- ・ 競争力を高めることにより民間建築での売上拡大に取り組む
- ・ 地域に根差した売上拡大戦略を進める

経営目標3

実行力

Capability

変化を乗り越える技術力と機動力の発揮



- ・ DXツール活用による効率化と情報セキュリティ確保に取り組む
- ・ 継続的な技術力向上と技術開発に取り組む
- ・ 中長期的視野に立った人材活用と育成に努める
- ・ 人材の確保と機動的要員配置を行う



第19次経営計画 - 4 C -
未来に向けた挑戦

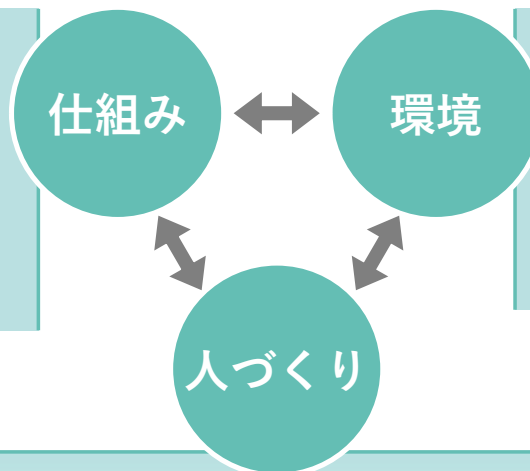
さらなる安全と高い品質の追求

- 現状に満足することなく、さらなる安全と高い品質を追求するため、「環境（組織）・人・仕組み」づくりに磨きをかけ、無事故・無災害で高品質の工事を行っていきます。

潜在するリスクと不安全行動の確実な排除

安全にかかわる潜在リスクの排除と、品質の作りみの組織化・標準化

- AI活用・遠隔臨場、危険・品質管理の見える化
- クラウドカメラを活用した本支店による施工管理、品質管理の支援
- ヒューマンエラーをカバーするICTの取組



常に安全最優先の行動ができる環境

安全・品質に目を配ることができる環境づくり

- 全社員の安全・品質管理意識の高揚を目的とした情報共有基盤の整備
例：情報が自動更新されるデジタルサイネージの整備
- タブレットを用いた保守用車運転支援装置の開発

自らが考え、気づき、行動できる社員（人）の育成

- 墜落などの危険体感や、実習線を活用した列車待避訓練など新たな研修施設を活用した実践的な教育の実施
- 模型等を活用した品質管理、技術教育の充実
- 教育内容の統一と拡充を目的とした、部門を跨いだ安全共通研修の実施

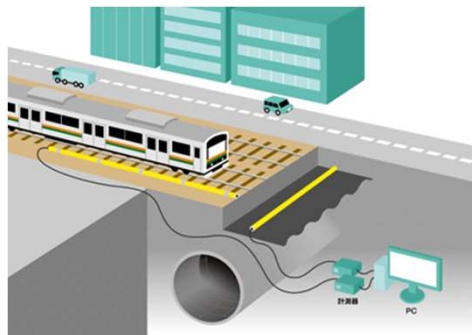
技術力のさらなる向上（ハード）

- 当社の強みとなっている特色と経験を活かし、今後も技術開発や新技術導入、社員と組織の技術力の向上に努めます。

実施済み例

強みを活かした技術開発 ～鉄道・維持補修関連の技術開発推進～

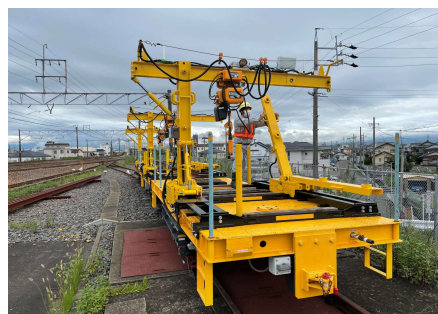
より安全に



DIMRO

光ファイバをもちいた軌道検測装置。高精度・高頻度で計測できるのが特徴。地中変位も計測可能でトンネル工事等への応用をめざし技術開発中

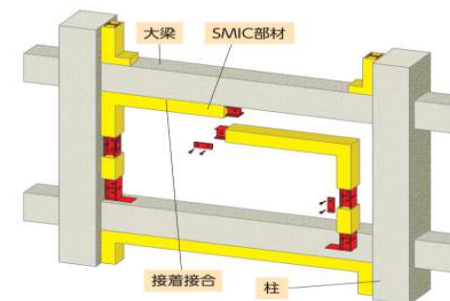
より効率的に



多目的トロ用両側レール積卸機

レールを両側に降ろすことを可能にすることで、レールの運搬・積卸の効率向上

より強く



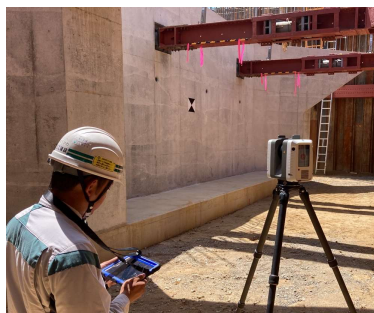
SMIC

柱・梁の構面内に、鉄骨と繊維補強コンクリートで構成される「SMIC部材」を接着接合にて一体化し、耐震性能を向上させる開放型の耐震補強工法

技術力のさらなる向上（ソフト）

- 当社の強みとなっている特色と経験を活かし、今後も技術開発や新技術導入、社員と組織の技術力の向上に努めます。

新技術の積極導入 ～建設ICTなどの推進～



点群データ活用



バックオフィス業務の推進

社員の技術力向上 ～知識・技能・経験 バランスのとれた育成～



研修施設の活用



大型工事JV参入

DXによる業務執行方法の変革推進

- 最新ソリューションのウォッチングを常に行い、タイムリーな実装を進めていきます。

センシング
(環境の計測とデジタル化)



顧客満足度向上



WEB営業の強化



BIM/CIM活用の高度化



カメラ画像のAI/機械学習
活用によるリスクの可視化



リモートによる監視
とパトロール



情報セキュリティ強化



リスク
軽減

売上

デジタルスキルの向上



ICT施工の拡大



利益

人的資本投資として研修施設建設計画を推進します

公共性の高い事業を展開する当社では、目指す企業像として「安全と技術の名工」を掲げています。

将来にわたり高いレベルの安全・技術を提供するためには「人材育成」が重要です。

その「人材育成」にさらに磨きをかけるべく、新たな研修施設の建設計画を推進します。

安全・技術の向上には、机上の知識だけではなく、実物による体験も必要です。

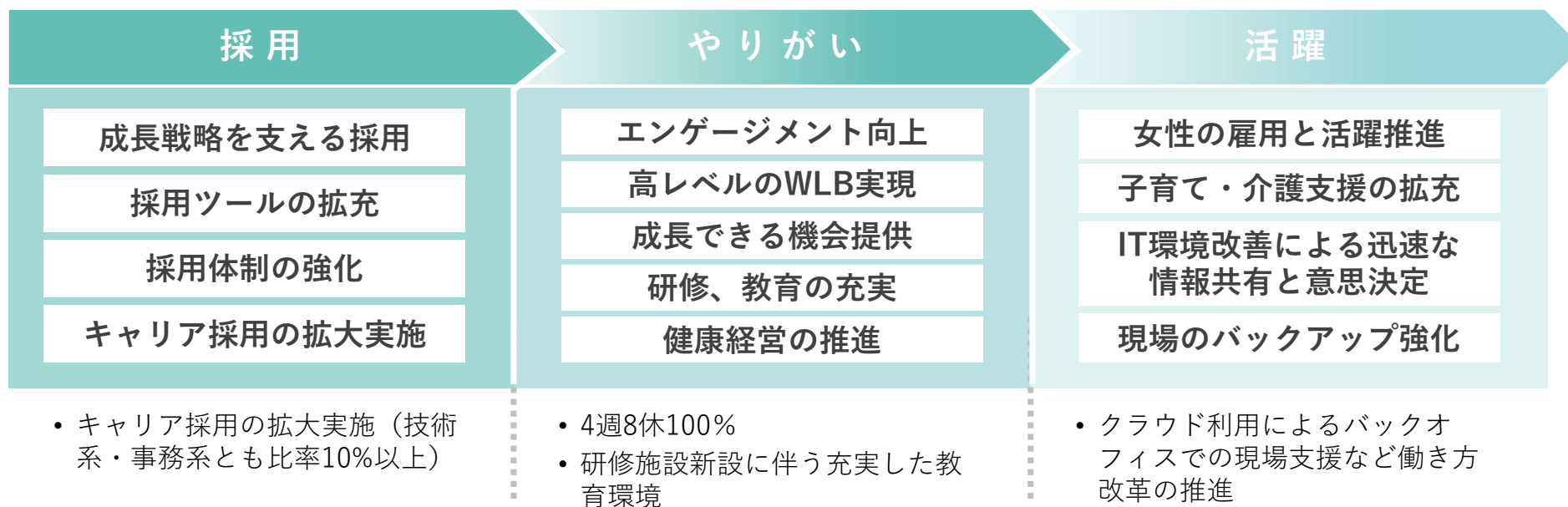
この研修施設には、実際の線路や土木・建築構造物を模擬した設備等を整備し、実物に見て触れる体感を通し「現場と同じ環境で学ぶ」「実際の現場では経験できない失敗を通して学ぶ」ことができるようにします。



【研修施設建物イメージ】

人的資本投資・活躍支援と WLB（ワーク・ライフ・バランス）の実現に取り組めます

- 戦略的な採用を行い、社員皆がやりがいを感じられる環境を構築し、より活躍できる場を提供できるよう努めていきます。時代にマッチした魅力的な職場環境を整備し、現場での土日連続休日取得増などWLBの実現に取り組めます。





社会的責任を果たすSDGs経営を遂行する

- 当社の事業が多くの社会課題の解決に関連していることを認識し、一層の責任感をもって遂行していきます。

安全安心な社会への貢献

鉄道・道路などの 社会インフラの維持・整備

例：大型補修土木工事への積極的な参画



鉄道・道路の災害時の復旧による社会基盤の維持

例：JRや自治体との災害協定に基づく復旧支援



気候変動（激甚化する自然災害）への対応

例：ハザードマップに応じた建築設計の提案



持続可能な社会への貢献

ライフサイクルを通じた顧客の支援

例：建物新規受注時からの修繕計画の作成・提案



カーボンニュートラルの取組

例：再エネ・省エネ、木造・木質建築などの取組推進
ICT施工による効率化や軽油代替燃料の採用



誰一人取り残さない社会への貢献

「働き方改革」と人材育成の推進

例：研修施設を活用した協力会社を含めた人材育成



インクルーシブな社会実装

例：様々な人材の活躍を支援する職場環境の構築



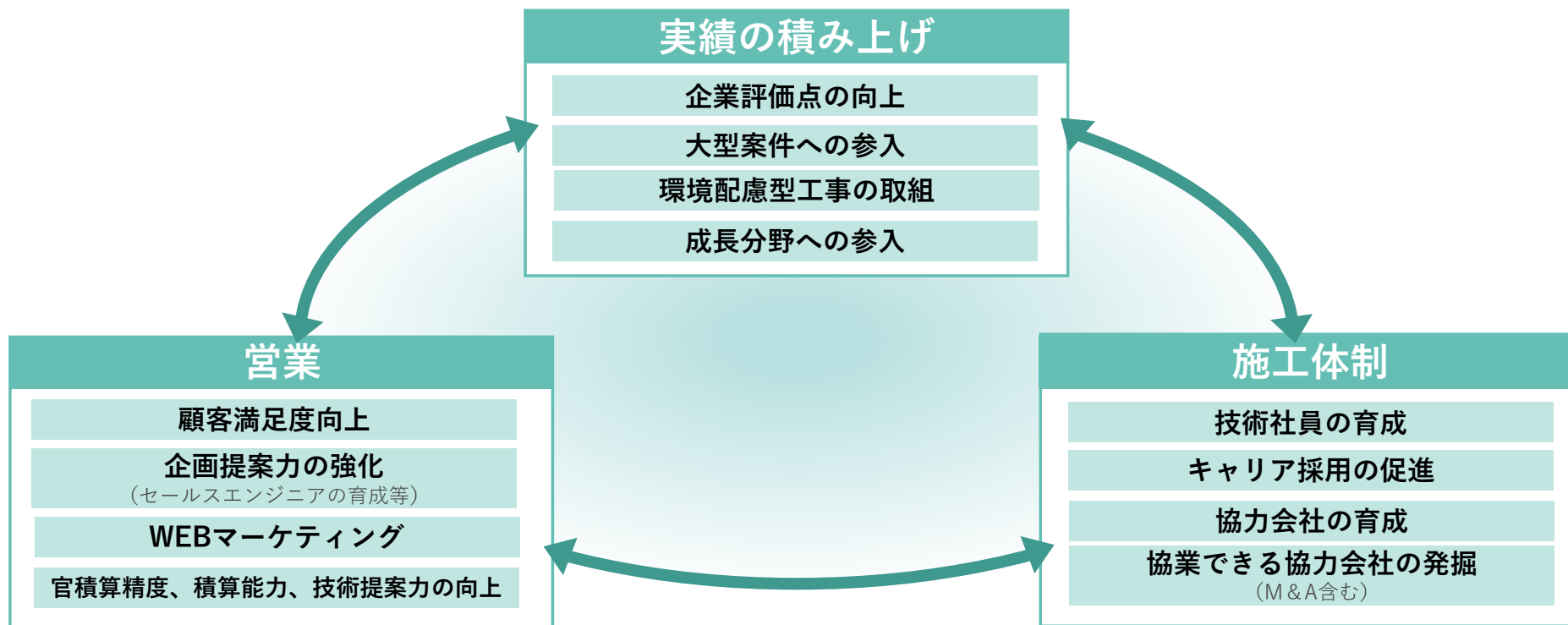
コーポレートガバナンスの強化と コンプライアンスの徹底

例：各種ハラスメント防止のための教育



売上拡大に向けた戦略的な取組

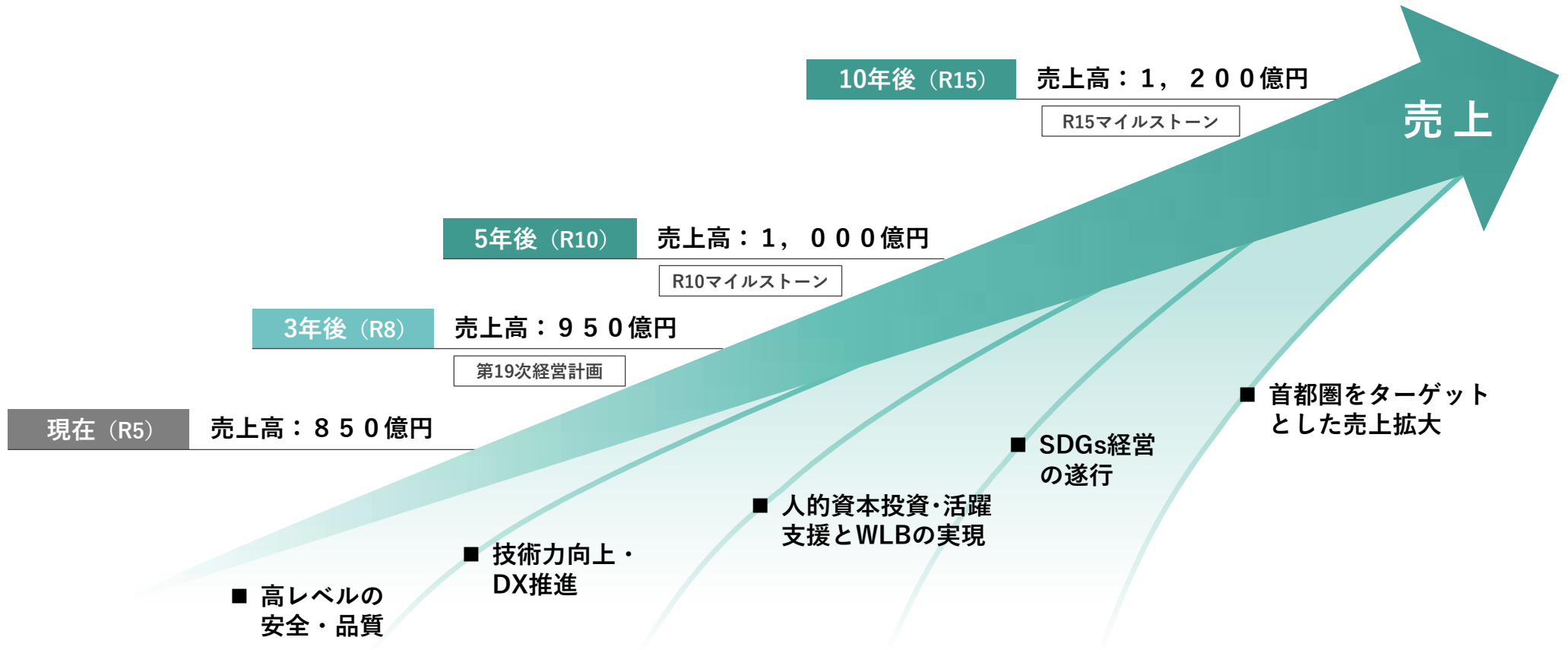
- 大きな市場での売上拡大をめざし、戦略的に挑戦していきます。



第19次中期経営計画《計画最終年度（R8）の数値目標》

受注高	950億円
売上高	950億円
営業利益額	60億円

5～10年後のマイルストーン



第18次経営計画 総括 《数値目標》

3ヶ年計画通期目標

受注高	800億円以上
売上高	800億円以上
経常利益率	4.0%

(単位：百万円)		1年目 令和3年度 (第81期)	2年目 令和4年度 (第82期)	3年目 令和5年度 (第83期)
実績	受注高	84,973	95,690	95,776
	売上高	82,957	84,185	86,218
	営業利益 (率)	7,011(8.5%)	6,331(7.5%)	5,370(6.2%)
	経常利益 (率)	7,313(8.8%)	6,704(8.0%)	5,820(6.8%)
主な出来事		<ul style="list-style-type: none"> 東海道本線刈谷駅改良ほか 受注 新湘南バイパス 西久保高架橋西鋼橋耐震補強工事 受注 紀勢本線熊野川B橋脚基礎補強 完成 樽見鉄道樽見線 美江寺駅～北方真桑駅間 (9km600m付近) 単独立体交差工事 完成 新幹線脱線逸脱防止対策工事、激震地区 (静岡・掛川地区) 完成 	<ul style="list-style-type: none"> 大和北道路 大江第一高架橋他4橋 (下部工) 工事 受注 (仮称) 富山事業所庄川工場新工場及び立体倉庫建設工事 受注 名古屋新場外馬券発売所建築工事 受注 東海道本線柱町Bv新設 完成 畜産総合センター種鶏場整備建設工事 完成 	<ul style="list-style-type: none"> 東山公園テニスセンターセンターコート改築その他工事 (CCUS活用推奨) 受注 沼津高架新貨物駅部路盤新設ほか 受注 沼津高架新貨物駅部軌道新設ほか 受注 北陸新幹線、福井軌道敷設他 完成 新幹線大規模改修工事、静岡・米原地区トンネル部 完成



第19次経営計画

※ 本資料で記載されている業績予想、将来予測は現時点における事業環境に基づき当社が判断した予想であり、今後の事業環境の変化により実際の業績が異なる場合があることをご承知おき下さい。